

新訂地球万国方図

江戸時代 世界地図



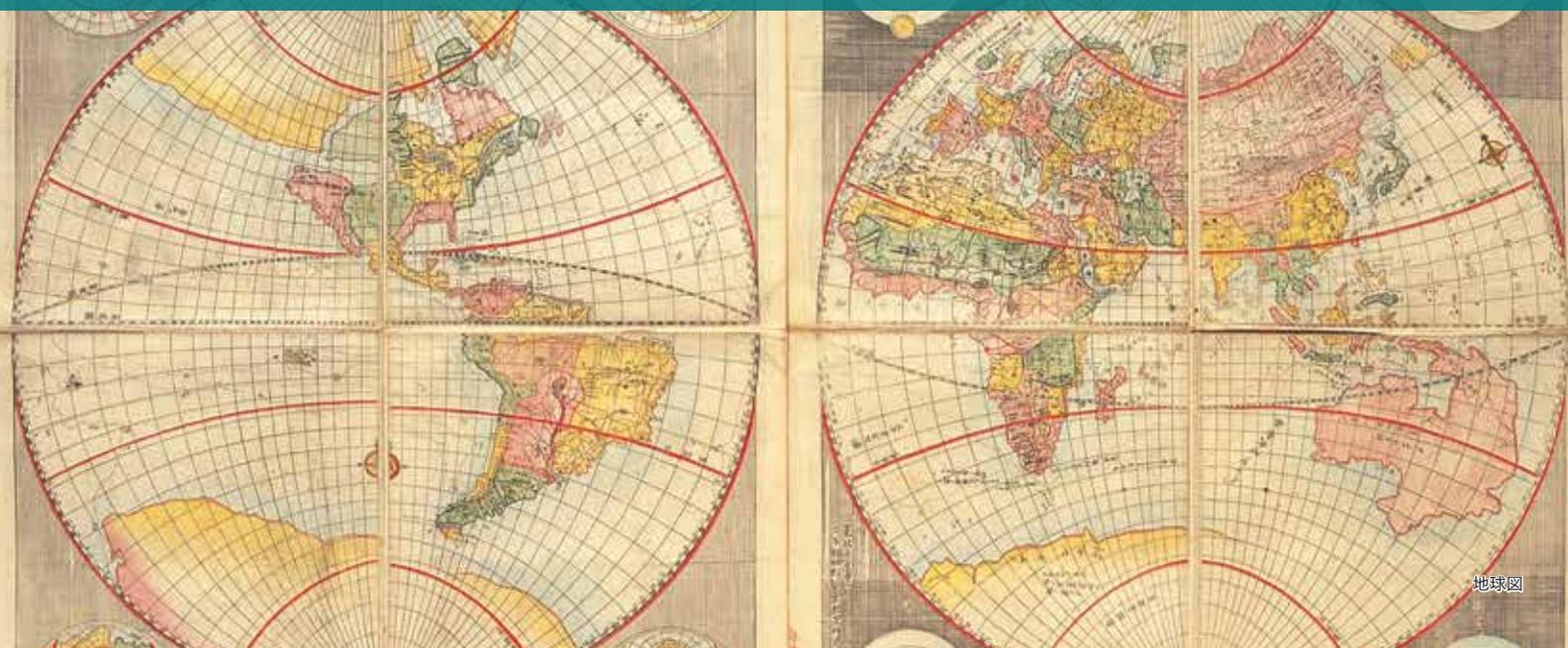
「世界」は江戸時代
から知られた
こと



地球儀

令和3年 **4/29** 木・祝 ~ **6/13** 日 一関市博物館
ICHINOSEKI CITY MUSEUM

[無料入館日] テーマ展初日の4月29日(木・祝)、国際博物館の日の5月15日(土)~5月16日(日)



地球図

江戸時代の世界地図

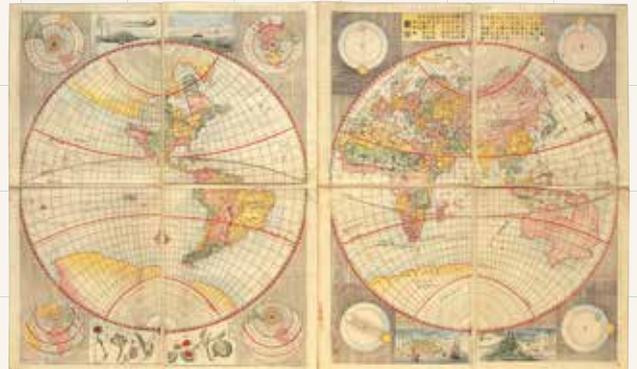
江戸時代の初期に、1602年に中国で刊行されたイタリア人宣教師マテオ・リッチによる世界地図がもたらされ、日本人の世界認識の基本となりました。18世紀後半には蘭学の発展により、ヨーロッパ製の地図を基に、外国の地理書や漂流民の見聞、北方地域の調査結果などさまざまな情報を付加した地図が国内で作成されるようになりました。幕末に外国船が近海に現れるようになると世界への関心が高まり、盛んに地図の出版が行われています。こうした地図が、人々の海外認識の基礎となり、やがて開国を迎えることとなります。そのような流れの中で、名取春仲、工藤平助、林子平、大槻玄沢、箕作省吾などの仙台藩ゆかりの人々が大きな貢献をしていることは、注目されます。

本展では、館蔵の資料を中心に、江戸時代に作成された世界地図を当時の日本に伝えられた海外情報を交えながら紹介します。

新型コロナの影響で人々の交流が制限されている今、古地図によって時空を超えた世界の旅を楽しみ、同じように対外交渉が規制されていた江戸時代の人々の、世界と日本に対する思いを感じていただければ幸いです。



地球儀・天球儀



地球図 司馬江漢・寛政5年(1793)



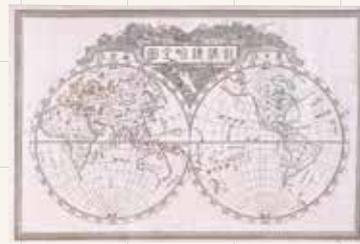
新訂坤輿略全図 新発田収蔵・嘉永5年(1852)序



東半球之図 大槻玄沢序・文化4年(1807)



環海異聞 大槻玄沢・文化4年(1807)



新鑄総海全図 高橋景保・文化6年(1809)



坤輿図識補 箕作省吾・弘化4年(1847)

関連行事

館長講座①

「林子平『三国通覧図説』の世界観
— 蝦夷・琉球・朝鮮 —

日時 5月30日(日) 13:30~15:00

講師 菊池勇夫(当館館長)

定員 50名(要申込 申込は5月1日(土)から、参加無料)

[申込先] 一関市博物館 TEL 0191-29-3180

博物館くいず

日時 5月1日(土)~5日(水)

テーマ展を見ながらクイズを解こう!!

正解者には記念品をさしあげます。参加無料。

展示解説会

日時 5月30日(日)10:30~、15:10~ / 6月12日(土)10:30~、13:30~

各40分程度、ただし状況により人数制限や短縮の可能性があります。

申込不要、入館料が必要です。



一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市蔵美町字沖野々215番地1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日 毎週月曜日(但し5月3日(月)は開館し、6日(木)が休館)

入館料 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円) 中学生以下 無料 ※()内は団体(20名以上)割引料金
次の方々の入館料は免除となります

①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います。)②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います。)

共通入場券 1年間有効1,000円 / 10日間有効500円

※有効期限内に限り、何度でも対象施設に入館可能(一関市博物館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、大籠キリシタン殉教公園)

交通案内

[自動車]一関ICより西へ約7分(5km)、一関駅より西へ約17分(9km) [路線バス]一関駅前9番乗り場蔵美溪方面行約20分(蔵美溪バス停下車徒歩7分)

新型コロナウイルス感染症への対応等により、変更となる可能性があります。

最新の情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認くださいませようお願いします。